県内情報

龍ケ崎市

14億で9月議会案件
保健福祉施設はZEB化

龍ケ崎市は新保健福祉施設整備で、2023年度当初予算案において、工事費14億1280万円（23～24年度2カ年継続費）を盛っている。7月ごろに工事を発注する。一般競争入札が濃厚とみられる。9月の定例議会に諮り、本契約を結ぶ流れ。工事費はZEB化により脱炭素かを推進することや物価高騰などの影響を受け、当初試算していた12億3200万円から約1億8000万円程度の増額を見込む。LED照明や複層ガラスの導入を予定する。

発注方法について建築、電気、機械、外構など一括とするか分離とするかは検討中。

新施設は23～24年度の2カ年で施工し、供用開始は25年度を目指す。施設規模はS造3階建て、延べ床面積約2714㎡とし、内装の木質化を想定。新施設供用後、既存の保健センターを解体し、借地部分を所有者に返却する。

建設地は市役所東側の駐車場で、面積が2442㎡。施設構造はS造3階建て、規模は延べ床面積が2714・14㎡。内装の木質化を実施予定で、県産木材を活用することも視野に入れる。エレベーターは南西側に18人乗りを1基設ける。

1階（1218㎡）は北側を高齢福祉関連の事務室、南側を保健・子育て関連の事務室とする。2階（748㎡）は健診スペースプレイルームを配置するほか、北側を屋上広場とする。3階（748㎡）については市民交流スペースとし、土日や夜間も開所する方針。防音・遮音性能を備える大会議室などを置く。

市民交流スペースの運営手法は23年度に決定する予定。指定管理者が管理運営を行う場合は、23年度中に条例制定などの手続きを行い、福祉機能など庁舎内の機構改革を踏まえた部課等の再配置や改修を検討していく。

実施設計については、つくば建築設計事務所（龍ケ崎市）が5月末までにまとめる。

龍ケ崎市役所の東側に新設を予定

購読お申込みはフリーダイヤル
0120(310)987

朝日中の長寿命化改修
2カ年9億充てる

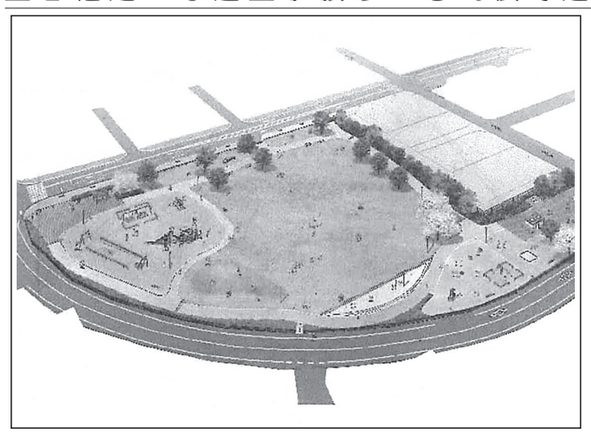
阿見町

阿見町は朝日中学校（荒川本郷1855）の大規模修繕工事を計画している。2023年度当初予算案では工事費として23年度からの2カ年継続費9億5000万円を計上。5月ごろに発注し、同年6月町議会に工事の契約議案を諮る流れを想定している。対象となるのは普通教室棟と特別棟で、体育館については今後、多目的トイレの設置などを検討する。また工事監理費についても23年度からの2カ年継続費3200万円を設定した。

同校は校舎1～3と屋内運動場で構成。校舎はRC造3階建て、1が延べ床面積2693㎡、2が1720㎡。いずれも1980年の竣工。校舎3についてはS造2階建て、延べ床面積が1222㎡で2018年の建築。屋内運動場についてはS造平屋建て、床面積が1333㎡を有する。1980年に建築したもの。

施工手順では、年明け夏季休暇期間中に特別教室や普通教室の内装工事を行い、夏休み後に屋上防水や外壁塗装などを進め、授業の妨げにならないように進めていく。

2021年3月に策定した町学校施設長寿命化計画によると校舎1、2の外部仕上げと内部仕上げが「早急に対応する必要がある」とする劣化状況評価「D」となっている。


曙地区公園は敷地約7500㎡を予定

公園整備2.6億措置
阿見町　曙地区街区公園は着工

阿見町は公園緑地整備事業の一環として曙地区街区公園を整備する。計画面積は町営曙住宅の跡地約7500㎡。4～5月に一般競争入札で発注し、6月の町議会で本契約の承認を得たい考え。2023年度末までの単年度工事を想定する。同事業では荒川本郷地区近隣公園整備も予定しており測量に着手する。2022年度当初予算公表時点では総事業費を1億9000万円と試算していたが、物価高騰などの影響を受け、増額となる見通し。広場や複合遊具、四阿の設置を予定する。21年度は公園基本設計をあい造園設計事務所（世田谷区）が、測量を平山測地（阿見町）がそれぞれ受注した。

荒川本郷は町西部に位置。都市基盤整備などが進み、人口が増加している。隣接する本郷第一地区と一体的な土地利用を図り、新たな人口の受け皿として地区内に存在する未利用地の土地活用を目指している。

町マスタープランによると、適正な規模の公園配置が課題に挙がっている。23年度は、国の交付金などがつけば用地測量に着手。次年度以降用地買収などに着手していく方針を示している。

朝日中では、JR常磐線の荒川沖駅近辺の開発によって生徒の増加が進んでいるため、18年に松浦建設（阿見町）が普通教室などの増築工事を施工した。

また、町では町内の小中学校を対象に多目的トイレの改修などを進めていく。22年度は屋内運動場、竹来中屋内運動場、本郷小屋内運動場を対象に工事を実施。朝日中に関しても23年度以降トイレ更新工事を計画する。なお朝日中プールについては現時点で改修や更新の計画はないとしている。

最短24年度組合設立
27年度駅西口A街区完成

取手市

【取手市】取手駅西口A街区地区市街地再開発準備組合は、高層住宅や公共公益施設などの整備を進めている。2023年度当初予算案では事業費として8540万円を付けている。開発準備組合が行う建築設計等に要する事業費に対し、市が補助金を交付。準備組合は23年の中ごろに都市計画決定となり、24年度に再開発組合の設立を目指す。建築物については25～26年度の着工、27年度の完成を目指す。施工予定面積は0・7haとなっている。

導入機能としては、都市居住や都市環境、歩行空間機能に加え、市民サービス施設整備では、商業・業務系の民間施設を導入したい考え。

取手駅西口完成イメージ

施設としては駅西口の高架歩道（ペデストリアンデッキ）と直結で、住宅、商業、業務、公共公益、駐車場、広場などを想定する。環境機能では歩道やテラスなどによる歩行空間を確保する計画。

市民サービス施設の調査では、アウトドア事業者や、教育、文化、子育てを支援する事業者、専門学校などの教育事業者、移住・定住化を促進する施設事業者など、多業種でヒアリングやアンケートなどを実施。同地における需要や事業性を幅広く検証している。具体的な施設面積などが確定していないため、事業者の募集時期は未定。

A街区の再開発においては大京（渋谷区）と戸田建設（中央区）が事業協力者として参画。

関連する取手駅周辺地区活性化事業では、取手市が駅前交通広場の整備を推進。現在は仮設広場整備などを進めている。新交通広場整備については23年度に取手駅西口交通広場およびペデストリアンデッキ仕上げ工事を行う。

なお、取手駅のホームドア未整備箇所である常磐快速線については、JR東日本が31年度末の整備を計画している。市と同社が協議を重ね、早期整備に向けて取り組むとしている。

居住空間では30階建て、住宅戸数は約250戸のマンション建設を計画。

ウェルネスパークの南側に位置する駅西口A街区は、地権者などで組織する再開発準備組合がタワーマンションや駐車場などの整備を計画。A街区の面積は約7500㎡で、北側に駐車機能と居住機能、東側に環境機能、南側に市民サービス機能を配置していく方針だ。

消防署改修3億措置
みらい平署新設へ事業費

常総広域市町村圏事務組合（管理者・松丸修久守谷市長）の2023年度予算を公表した。主なものでは、消防費の水海道消防署庁舎改修事業に2カ年継続費3億206万円を設定。老朽化に伴い、屋上防水更新や個別空調化、照明のLED化を推進する。また4億8486000円を盛った。

松丸管理者

総務費では防火センター外壁等改修工事実施設計費に2916000円を計上。民生費では地域交流センター屋根・外壁改修実施設計費に2460000円を付けた。

土木費では公園長寿命化計画見直しに4730万円、公園園路照明設備設置工事費に990万円を措置。

一般会計は68億1238万5000円で、前年度比2・4％の増。普通建設費は3529万9000円で、前年度比34・6％の大幅減となる。

つくば市中根・金田台新小学校

24年6月議会案件
本年は用買と設計推進

（仮称）中根・金田台地区小学校新設を進めるつくば市は、2026年4月の開校を目指し、24年7月～26年3月までの工期で工事を進めていく計画。24年6月の市議会に工事の契約議案を諮る想定だ。23年度は土地購入費として13億4802万8000円、除草委託料には1072万1000円を計上。設計についてはレーモンド設計事務所・岡野建築設計事務所JVが受注しており、24年1月31日までにまとめる。

設計では将来的な桜中学校の移転を考慮し、中学校校舎や体育館の配置計画を検討する。また環境に配慮したZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化も視野に検討を進めている段階。

新たな学校の建設予定地は春風台16－1、17－1の県道土浦大曽根線沿い敷地面積は5万964・24㎡。新設小学校は校舎、体育館、屋外運動場を整備する計画。概算事業費には51～57億円を試算している。

建物概要は、校舎がRC造またはS造、2もしくは3階建て、延べ床面積が約7900㎡。各教室の内訳は、普通教室が25クラス程度、特別支援教室3クラス程度を予定。特別教室では、理科室、音楽室、図工室、家庭科室、コンピューター室、図書室などを想定する。将来的な児童増加に備え、増築に対応した設計を推進。

体育館はS造またはW造、約1200㎡を想定。プールは25m×6コース程度とし、低学年用プールも設ける。また児童クラブ（2階建て、約600㎡）を別途整備する予定。

鴨志田造園建設、大塚石材、京都大学

CFで〝一石〟投じる
高級庭石再活用へ新製品

鴨志田造園建設（水戸市、常陸太田市）と大塚石材（桜川市）はこのほど、クラウドファンディング（CF）事業「Garden Stone Project」を立ち上げた。地元で使われなくなった高級庭石や建設廃材を新製品として再活用し、地域資源の活性化を図る事業となる。再活用方法の研究に当たり、京都大学小見山研究室の技術協力を受けている。

CFは専用サイト「READY FOR」で実施。27日～3月27日が運用期間。返礼品には、支援者の元に出張しての石材ワークショップや高級石材を活用した家具製品などを挙げた。

プロジェクトを通じ、造園や石材を身近に感じてもらうとともに、身の回りに眠る資材等の活用方法を考え直すきっかけなどの波及効果を期待する。

CFサイトのトップビジュアル

高級庭石を茶たくとして再活用

神栖市

海浜公園の敷地西側改修
概算工事費8億3657万

海浜運動公園改修を計画する神栖市文化スポーツ課は、敷地西側分の概算工事費を8億3657万2000円と試算したことを明らかにした。敷地西側と東側に区分しており、2023年度から同時並行で進める。今回概要が分かった西側のスケジュールは、23年度に基本設計、24年度以降の実施設計、25年度以降で整備工事を行う予定。東側については、23年度に改修基本計画を策定。24年度以降に基本設計、実施設計、整備に順次着手する方針だ。

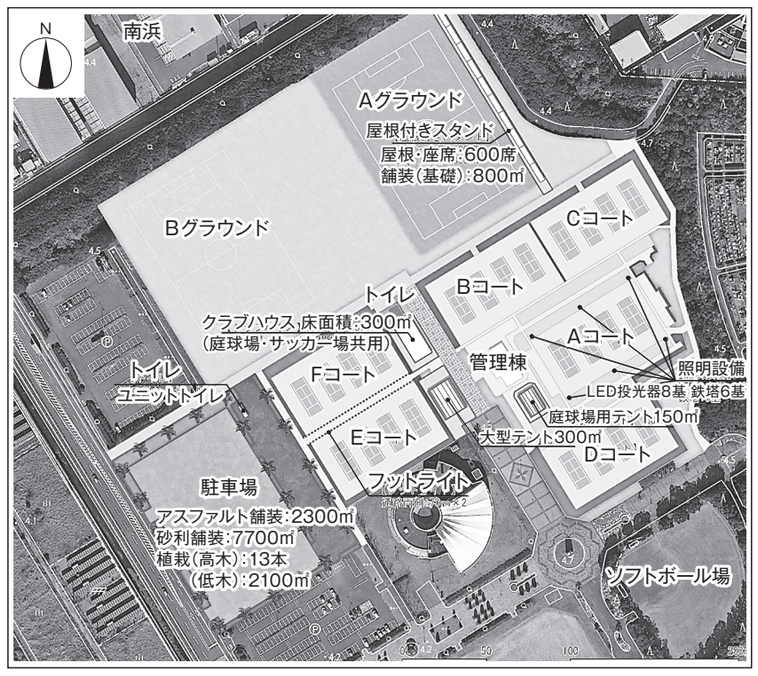
概算工事費8億3657万2000円のうち、直接工事費は4億8760万円。内訳が▽庭球場＝9840万円▽サッカー場＝9290万円▽クラブハウス＝1億5200万円▽大型テント＝4800万円▽駐車場＝9630万円－となる。そのほか、諸経費2億7292万円、消費税7605万2000円と計算している。

想定する各施設の規模について、庭球場は4面分の照明設備を整備。LED照明8基と支柱6基を見込む。通路（70m×2（両側））にはフットライトを設ける。管理棟（316㎡）も築40年をめどに改修。管理棟隣接地には、テント（150㎡程度（75人×2㎡／人））も整備していく。

サッカー場ではAグラウンド東側に屋根付きスタンド（600人対応）を設置し、芝も張り替える。クラブハウスについては、サッカー場出入口と庭球場Fコートに隣接して整備。床面積300㎡程度を見込み、ロッカー・シャワー室、会議室、男女多目的トイレを設ける。大型テントも庭球場Eコート隣接地に整備。150人×2㎡／人程度を計画している。

庭球場駐車場に関しては、アスファルト舗装2300㎡、砂利舗装7700㎡程度を行う。トイレ1基も設置。植栽として低木2100㎡、高木13本程度を備える。

そのほか、Park－PFI制度の活用をはじめ、再生可能エネルギー（風力・太陽光）導入などを視野に入れる。



海浜公園西側の俯瞰写真と改修概要

最短24年度設置工
再エネ導入推進へ調査　つくば市

つくば市は公共施設への太陽光発電設備導入に向けた検討に着手する。2023年度予算案では再エネ導入調査費として2000万円を計上。このほど公募型プロポーザルを描く。

市ではゼロカーボンシティ宣言により、公共施設への再エネ設置を進めている。太陽光発電設置推進に当たり、各施設における設置可能性、設置容量、設置手法などについて調査を実施。一定規模以上の設置可能性がある施設を抽出し、該当する施設を対象に現地調査を進めていく。

今回のプロポーザルで選定した業者が、設置に関する計画策定を行う場合、完成した計画をもとに設置事業を展開することも視野に入れる。工期は24年1月まで。設置容量および概算費用を調査する。

優秀賞は生瀬少年団
育樹祭記念し活動発表

県森林・林業協会、県緑の少年団育成協議会

県緑の少年団が日ごろの活動を発表した

県森林・林業協会（石井邦一理事長）と県緑の少年団育成協議会はこのほど、「緑の少年団活動コンクール発表大会」をセキショウ・ウエルビーイング福祉会館で開催した。11月に開催予定の第46回全国育樹祭を記念するもの。関係者ら約130人が参加。生瀬緑の少年団（大子町）が優秀賞（県知事賞）に輝いた。

緑の少年団は、次代を担う子どもたちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体。

当日は、県内各地域を代表して6つの緑の少年団が、間伐などの森林・林業体験、ボイスカウトとしてキャンプなどの体験、学校花壇などの美化活動などの取り組みについて発表した。なお、優秀賞の生瀬緑の少年団は公益社団法人国土緑化推進機構の主催する「中央審査会」に推薦される。

受賞者は次の通り。

◆優秀賞（県知事賞）＝生瀬緑の少年団（大子町）

◆優良賞（県議会議長賞）＝桜地区緑の少年団（つくば市）

◆奨励賞（県緑の少年団育成協議会長賞）＝白方小学校緑の少年団（東海村）、潮来第一中学校緑の少年団（潮来市）

◆特別賞（県森林・林業協会理事長賞）＝五霞東小学校緑の少年団（五霞町）、麻生東小学校緑の少年団（行方市）